

安全データシート

作成日 2000年1月12日
改定日 2017年2月17日
(第12版)

1.化学品及び会社情報

化学品の名称 : クリンバーGS-2
製品コード : 1169

会社名 : 株式会社コスモビューティー
住所 : 大阪市此花区島屋6丁目2番82号 ユニバーサル・シティ和幸ビル11階
担当部門 : 研究部
担当者 : 矢野 貴史
電話番号 : (06)6460-3120
FAX番号 : (06)6460-0052
推奨用途及び
使用上の制限 : 自動車ボディ用固形シャンプー
整理番号 : 1169S12

2.危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) 区分4
: 急性毒性(経皮)
: 急性毒性(吸入・蒸気)
: 皮膚腐食性/刺激性 区分2
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2B
: 呼吸器感作性
: 皮膚感作性
: 生殖細胞変異原性
: 発がん性
: 生殖毒性 区分2
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分3
: 吸引性呼吸器有害性 区分2

環境に対する有害性 : 水生環境有害性(急性) 区分2
: 水生環境有害性(長期間)
: オゾン層への有害性

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: 飲み込むと有害
皮膚刺激

(クリンバーGS-2, 株式会社コスモビューティー, 1169S12, 2017年2月17日)

眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器<腎臓、神経系、呼吸器>の障害のおそれ

眠気やめまいのおそれ

長期にわたる、または反復暴露により臓器<神経系、腎臓、呼吸器>の障害のおそれ

水生生物に毒性

注意書き

〔安全対策〕

- ： 保護手袋を着用すること。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取り扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- 環境への放出を避けること。

〔応急措置〕

- ： 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 口をすすぐこと。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

〔保管〕

- ： 施錠して保管すること。
- 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。

〔廃棄〕

- ： 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

組成及び含有量

化学名又は一般名	含有率(%)	化管法 ⁽¹⁾	化審法 ⁽²⁾	安衛法 ⁽³⁾	CAS番号
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸	25	第1種30	(3)-1907	—	27176-87-0
ステアリン酸ナトリウム	5.0	—	(2)-611	325	822-16-2
硫酸塩	非公開	—	非公開	—	非公開
ホウ砂	7.0	第1種405	(1)-69	544	1303-96-4
ケイ酸塩	非公開	—	非公開	—	非公開
有機酸	微量	—	非公開	—	非公開
水酸化ナトリウム	1.0未満	—	(1)-410	319*	1310-73-2
色素	微量	—	非公開	—	非公開
水	残量	—	—	—	7732-18-5

(1) 化学物質排出把握管理促進法 官報公示整理番号(平成21年10月1日施行)

(2) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

(3) 労働安全衛生法 第57条 施行令第18条第1号別表第9 (名称等を通ずべき危険物及び有害物) 政令番号(平成29年3月1日施行)

—:該当しない

*:対象となる濃度下限値(裾切値)未満のため該当しない

4.応急措置

- 吸入した場合 : 使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 目を擦らず直ちに清浄な水で15分間以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易外せる場合は外して洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよくすすぎ、無理に吐かせないでコップ1-2杯の水または牛乳を飲ませるなどの処置をすること。気分が悪いときは医師の診断を受けること。

5.火災時の措置

- 消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置 : 作業の際には保護具(保護眼鏡、保護手袋、保護マスク)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- 除去方法 : 真空中で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。
飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 眼、皮膚、衣類に付けないこと。
保護手袋及び保護眼鏡を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 注意事項 : みだりに粉塵が発生しないように取扱う。
- 安全取扱い注意事項 : 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- 保管
- 安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
使用後はバケツの中の水を切り、直射日光の当たらない涼しい場所で保管すること。
- 容器包装材料 : 他の容器に移し替えて保管しないこと。

8.ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度
- 日本産業衛生学会 : 設定されていない
- ACGIH : TLV-TWA 2 mg/m³ 【ホウ砂】

(クリンバーGS-2, 株式会社コスモビューティー, 1169S12, 2017年2月17日)

設備対策 : 取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 : 特に必要としない。
 手の保護具 : ゴム製保護手袋を使用する。
 眼の保護具 : 保護眼鏡を使用する。
 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を使用する。

9.物理的及び化学的性質

外観 : 白色固体
 臭い : わずかに特異臭
 pH(1%水溶液) : 7.6(代表値)
 融点・凝固点 : データなし
 沸点、初留点と沸騰範囲 : データなし
 引火点 : 引火性なし
 自然発火温度 : データなし
 燃焼性 : 該当しない
 燃焼又は
 爆発範囲 下限、上限 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 蒸気密度 : データなし
 蒸発速度 : データなし
 比重(25°C) : データなし
 溶解性 : 水に分散する。
 n-オクタノール／水分配係数 : データなし
 分解温度 : データなし
 粘度(25°C) : 該当しない

10.安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件では安定。
 危険有害反応可能性 : 強酸化剤との接触を避ける。
 避けるべき条件 : 現在のところ有用な情報なし。
 混触危険物質 : ハロゲン類、強酸類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
 危険有害な分解生成物 : 現在のところ有用な情報なし。

11.有害性情報

急性毒性

経口 : ▽直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムは、ラットを用いた経口投与試験のLD50 438 mg/kg (RTECS (2006))、500 mg/kg、2,000 mg/kg (IUCLID (2000))に基づき、計算式を適用して得られた 438 mg/kg から、【区分4】。
 ▽ホウ砂はラットを用いた経口投与試験のLD50 3,493 mg/kg、4,500 mg/kg、4,980 mg/kg、5,660 mg/kg、6,080 mg/kg (EHC 204 (1998))、6,000 mg/kg (ECETOC TR63 (1995))に基づき、計算式を適用して得られたLD50 4450 mg/kgから、【区分5】。
 ▽ケイ酸塩は、マウスのLD50値 1200~1700 mg/kg (SIDS (Access on May 2010))に基づき、【区分4】。
 ▽以上のデータから、本製品としての急性経口毒性推定値(ATE)は1,000~2,000 mg/kgとなることからJISのGHS分類基準を採用し【区分4】とした。

(クリンバーGS-2, 株式会社コスモビューティー, 1169S12, 2017年2月17日)

皮膚腐食性/刺激性	: 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムは【区分2】に分類されており、合計含有率がカットオフ値(10%)を超えているため、【区分2】とした。
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	: 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸およびステアリン酸ナトリウムは【区分2A】、ホウ砂は【区分2B】に分類されており、合計含有率がカットオフ値(10%)を超えているため、【区分2B】とした。
呼吸器感作性 又は皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: ホウ砂は【区分2】に分類されており、【区分2】のカットオフ値(3.0%)以上含有しているため、【区分2】とした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: ホウ砂は【区分1】(腎臓、神経系、呼吸器)に分類されており、含有率が1.0~10%のため、【区分2】(腎臓、神経系、呼吸器)とした。また、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムは【区分3】(気道刺激性)に分類されており、含有率が【区分3】のカットオフ値(20%)を超えているため、【区分3】(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: ホウ砂は【区分1】(神経系、腎臓、呼吸器)、【区分2】(精巢)に分類されており、含有率が1.0~10%であるため、【区分2】(神経系、腎臓、呼吸器)とした。
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

12.環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性(急性)	: 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムおよびステアリン酸ナトリウムは【区分2】に分類されており、合計含有率が25%を超えるため、【区分2】とした。
水生環境有害性(長期間)	: ステアリン酸ナトリウムは【区分3】に分類されているが、含有率が25%以下のため【分類できない】とした。
オゾン層への有害性	: 情報なし
他の有害影響	: 情報なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	
内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。	
汚染容器及び包装	
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。	
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。	

14.輸送上の注意

国際規制	
国連分類	: 国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
国連番号	: 該当しない
品名(国連輸送名)	: 該当しない
国内規制	
陸上輸送	: 労働安全衛生法に定められた輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められた輸送方法に従う。
輸送の特定の 安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 直射日光・高温多湿を避ける。

緊急時応急措置指針番号 : 該当しない

15.適用法令

化学物質排出把握管理促進法 : 第1種指定化学物質 政令番号 第30号【直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)]25%
(平成21年10月1日改正)

第1種指定化学物質 政令番号 第405号【ほう素化合物】7.0%

労働安全衛生法

危険物 : 非該当

有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物 : ステアリン酸ナトリウム、ほう酸ナトリウム

(平成29年3月1日施行)

名称等を通知すべき危険物及び有害物 : 政令番号325【ステアリン酸ナトリウム】、政令番号544【ほう酸ナトリウム】

(平成29年3月1日施行)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

16.その他の情報

参考文献

原料メーカーSDS

独立行政法人 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」データベース(CHRIP)

厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデルSDS」

改訂情報

2000年1月12日(第1版) : 初版発行

2008年4月9日(第7版) : 書式変更(JIS Z 7250 準拠)

2008年10月2日(第8版) : 労働安全衛生法の記載漏れ修正

2009年10月9日(第9版) : 配合成分(処方)変更による改訂

2011年1月7日(第10版) : GHS対応版へ改訂

2015年10月16日(第11版) : SDSへ改訂(JIS Z 7253 準拠)および住所変更

2017年2月17日(第12版) : 労働安全衛生法改正(平成29年3月1日施行)による改訂

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。また、記載内容は新しい知見などにより予告なく改訂することがあります。

記載内容の問合せ先 : 株式会社コスモビューティー 研究部

電話番号 (06)6460-3120

FAX番号 (06)6460-0052